滿洲日報

本日朝刊四頁

本紙定價 一部金五錢 一ケ月金壹圓 郵稅一ケ月金貳拾五錢

大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社 滿洲日報社
私書函一三五號・振替大連六〇

支社 東京・大阪・新京・奉天

對北支懸案解決促進

今後の基礎的方針を協議

星ケ浦會議續行す

板垣關東軍參謀副長を中心に四日大連星ケ浦星乃家において開かれた關東軍と支那各地駐在武官との會議は午前に引續いて午後も續行され主として北支問題を中心に關東軍の既定方針に從ひ具體的に協議を行つた、卽ち關東軍としては北支における諸懸案は日支停戰協定及びその後の大連、北平兩會議における日支間の申合せにより支那側が早急に解決を圖るべき義務あるものにして既に通車設關問題は解決し通郵問題も最近解決、近く實施をみることゝなつたが更に多くの未解決案件を殘してをりこれが早急解決を希望するものであるとの意向を有してをり過般上海において開催された駐在武官會議においてなされた申合せに續いて殘された未解決案件の解決促進に關して各關係機關との間に細目的事務的打合せを行つた、支那側においては最近通郵問題を解決したことにより誠意を有するが如くにもみられてゐるが停戰協定後既に一年有半、北平會議後既に一年餘を經て漸く通車、設關、通郵の三問題を解決したのみであり北支那當局の努力はさることながら南京政府のこれに對する誠意頗る疑はしきものあるの實狀にある際であるので右今次の會議においてもこれら南京政府の態度に關する根本問題につき意見を交換し、今後の基礎的方針につき協議を遂げたものゝ如くである、かくして右會議は四日夜にいたるまで續行されたが、北支懸案を繞る支那側の態度右の如くなる實狀に在るに鑑み、右會議の決定は今後のわが對北支折衝の上に一エポックを劃するものとして注目されてゐる（寫眞上から板垣、土肥原、儀我、酒井、佐々木の諸將星）

"大した事ではない" 松村大尉・多く語らず

四日關東軍と支那各地駐在武官との會議に關し松村大尉は左の如く語る

新任挨拶のため來連した、板垣參謀副長は四日大連で佐々木、石本、河野氏等の關東軍幕僚及び特務機關々係の土肥原、酒井大迫、影佐氏等の諸武官と會合したのを機會に通車、通郵設關問題解決後の事務折衝を行つたといふ以外何ごとも話出來ない

御覧の通り打寛いでの會合で會議といふほどのものでもなく、從つて何時から始まつて何時終るといふこともない、用事がすんだら皆歸る筈だ、今度の集りは餘り大したことはない

解散を氣構へつゝ議會切拔けに努力

官僚系の企圖は實現せず? 政府の對政友陣

【東京四日發國通】政府は新春早々休會明け第六十七議會に對處すべき作戰確立に餘念なく、其重心を政友會の動向に置き解散、非解散の和戰兩樣の陣容整備をなしつゝあるが後藤內相、吉田書記官長等を中心とする官僚系勢力は政界淨化政黨革新のため休會明の議會に好機を捉へ一擧に解散を斷行せしむべく企圖し、機會ある每に岡田首相を鞭撻してゐる模樣である併し內田、山崎、町田、床次、松田各相等の政黨出身閣僚は政界の淨化は官僚の企圖する如く總選擧によつてのみ出來るものではなく一に政黨の自力更生によらざれば不可能との建前をとると共に强引になされる議會解散は權力の濫用で憲政上斷乎として排擊すべきものとなしてをり官僚系閣僚が企圖する如く岡田內閣が積極的に解散の手段をとるものとは思はれない而も岡田首相は爆彈動議の跡始末のため政友會が强硬に救濟追加豫算の提出を要求するに於いては解散敢て辭せぬも政界淨化なる抽象的理由のみによつては議會の解散は出來ないと言明し、又政界の一部では解散回避の策謀も行はれてゐるから政府は結局解散を氣構へつゝ議會の切拔けに萬全を期してゐる

軍人勅諭奉讀

新京軍部各部署

【新京四日發國通】日本側各官廳も滿洲國政府各官廳も四日を以て新年の御用始めとし夫々事務を開始したが、軍部關係部署は當日は恰も明治天皇の軍人に對する勅諭を賜りたる記念日に當るので軍務開始に先たちこの聖恩溢るゝ軍人勅諭を奉讀し大帝の御聖德の感銘を新たにした

"滿洲を語る"座談會 ㊂

邦人による農業飛躍

"移民協約"締結の是非

森重課長 農業移民については拓務省においても滿洲國成立の趣旨卽ち五族協和により同國の繁榮を來すため多數の日本移民を入るべきであり、入れたいと考へてゐるが、此の希望に對しては一般に御異論がないやうである、然し農業移民として果してうまくやつてゆけるかどうかといふ事については相當議論があるやうだが、私共は滿洲の新局面に照し土地解決の見透しがついたので、先づやつてゆけるとの確信のもとに少數ながら昭和七年末三回に亙つて特別移民を行つてゐる、尤もそれには色々御批判もあり、今日よりこれを顧みれば我々に於ても遺憾の點なしとしませんが、大體において眞劍にやれば必ずやつてゆけるといふ確信がついた、或は機械農や大農主義を唱ふる向もあるが、多數農民を入れるためには矢張り自作農に中心を置くべきものと考へてゐる、何分農民に充分なる手持資金を期待するのは現狀に鑑み困難と考へられる、一面移民に多くの借金を負擔させることもよろしくないので左程困難でないと思はれる程度、卽ち一戶當り千圓位の資金を準備させ、それ以上必要とする資金については國家において補助するやうにしたいと考へてゐる、先般新京で開かれた移民會議の內容も大體以上述べたやうな方向に向つてゐるだらうと思はれる、いづれにせよ未だ治安關係上今日ブラジルに行くやうには參らぬが出來るだけ早く多くの農業移民を送りたいものである。

小林鐵太郎氏 ほんの私見を述べるが、私は日滿兩國に移民協約とか協定といつたものを締結する必要があるのぢやないかと思ふ、その理由はこれまでの移民論者は悉く日本を中心として人口問題から出發されるのが指導原理となつてゐるやうだが、これを滿洲國側より云へば國內の人口增加のため未墾地を將來に殘しておく必要があるとも云へると思ふ、そこで日本の移民は日本のためといふよりは滿洲の治安維持のためやるが如きは建國の根本精神より一層產業發達のため必要だといふことを强調しお互に理解する必要があらうと思ふ、なぜなら日本移民の半數內外は常に在鄕軍人であり、これを結成すれば立派な治安維持機關となると同時に、滿洲の農法は原始的でアメリカで二人位でやつてゐる仕事を馬二頭に人四人もかゝつてゐるが、日本人は農業に天才的な能力を有し沙漠に近かつたテキサスやカルホルニアでも立派に開拓した有樣で滿洲の農業も邦人によつて大なる飛躍を遂げるだらうと豫想されるからである、かやうの見地から農地獲得にせよ現在では滿洲國側の機關でも自國のためだから進んで便宜をはかるやうな立前になつてゐないのを改めて大いに兩國の利益のため便宜をはかるやう一種の移民協約みたいなものを作つてこの際根本政策を樹立する必要があるのではなからうか。

片倉少佐 協約の如きもので移民等の權利を確保しやうとするが如きは建國の根本精神より一考を要するであらう、日滿兩國關係は條約などによらずとも圓滿にやつてゆける筈であり、移民協約の如きものを結ぶと却て向ふで歡迎するといふ氣持を殺ぎはしないだらうか。

遠藤中佐 事每に滿洲國のためにやるといふ事をふれ廻すのは却て面白くない、日滿兩國は[illegible]を着て外交辭令を用ふることなくザツクバランの方がよい。

高木博士 日滿經濟ブロツクが論ぜられるのは兩國の利害が一致したからであつて、日本移民にしろ相互依存的のものであり、滿洲國のためにもなれば日本のためにもなるのだから之を特別にむづかしい綺麗な言葉で飾る必要はない、例へば移民は滿洲國のためだと云へば臭過ぎ、日本のためだと云へば言葉が强過ぎるし、兎もかく日滿關係を粉飾し過ぎると滿洲國人も外國人も分らなくなる私も遠藤さんと同樣ザツクバランにお互のため開發するといふことを云つて一向差支ないと思ふ。

南洋委任統治を聯盟肯認せん

十一日の理事會で

【ジュネーヴ三日發國通】日本の聯盟脫退は三月二十七日效力を發生し之に對し聯盟側は一月十一日の理事會に於いて日本の脫退の效力發生後も日本政府が委任統治委員會の權能を受諾し委任國たる任務の履行を條件として其の委任統治を公認するらしい、十一日の理事會で日本の脫退後の委任統治問題に關し報告をなすチエツコ代表ベネツシユ氏は三日他の理事國代表と會見後非公式に左の意見を洩らしたと

日本は次回報告發表前か次回理事會開會前に完全に聯盟から脫退するが假令日本が加入國たるを止めたとしても受任國として其の義務たる委任地域の年報提出をつゞけるだらう

尙聯盟筋の情報によれば日本の南洋委任統治の將來に關する聯盟の聲明は脫退後も受任國たる日本の立場を公認すると同時に棄權せりとなすことを避けんとしてゐる模樣である、右聲明の形式は三月二十七日以後において出來得る限り法理上より日本を加入國と見做す方法をとらんとしてゐると觀られてをり脫退後も日本が規約上の義務を完全に履行したか如何かを檢討せずに受任國として統治委員會との協力を望んでゐる模樣である

聯盟報告の內容

【ジュネーヴ三日發國通】一月十一日に提出さるべき聯盟報告の內容は左の如きものと見られてゐる

一、日本は從來以上に詳細な年報を委任統治委員會に提出すべし

二、委任統治領に適用さるゝ總ての國際的計畫のリストを發表し右領內の港灣改善に費消された費用の明細を發表すべし

一、土人の財產と富の增進法を示すべし

尙日本の貿易業者が享受してゐる南洋貿易の利益を土人に均霑せしむべしと意思表示する

本年より愈よ本格的飛躍

滿洲中央銀行總裁 榮厚

わが滿洲帝國は茲に輝ける建國第四年たる康德二年の新春を迎へ、諸般の制度備はり、國礎の鞏固、國運の隆盛日に加はるに至りました事は寔に慶祝に堪へない次第である。惟ふに今日迄の滿洲國に於ける諸般の施設は主として基礎的工作に過ぎなかつたのであるが、茲に新年を迎ふると共に各方面共に積極的に國利民福を增進する事に向つて、官民一致協力充分の努力を爲し得るの機勢に立至つて居ると思ふのである、就中經濟界に於ては、各種產業の勃興農產物市價の上騰等財界は著るしく好轉の兆を示して居るのである、之をわが滿洲中央銀行の貨幣發行高に就て見ても、既に昨年末に於て開業以來の最高を示し、尙今後特產物の出廻りに從ひ漸增の傾向にある要するに過去三ケ年は建國後の凡ゆる準備時代であつて、愈々本年よりは本格的の活動期に入らんとして居るものと信ずるのである、私は此の輝かしき希望に充てる新年を迎へるに當り、躍進滿洲國の金融機關として最善の努力を拂ひ以て萬遺憾なきを期する次第である、希くは國民各位に於かれても更に一段の努力を以て大滿洲帝國の實質的發展に對し充分奮鬪せられんことを望んで已まない。

對滿事務局

國策遂行に當るべく 明年度より大增員

【東京特電四日發】對滿事務局は開設と同時に拓務省から對滿關係の事務を引繼ぎ川越次長の手で事務局の分野並に關係各省との事務連絡に就いて講究中であるが廣義國防上に於ける對滿經濟工作は總て其の所管に屬するので關東局と呼應して統一强化されたる國策遂行に當るべく意氣込み此等の關係から明年度よりは現在の同局專任高等官十二名を約二倍に增加する意向であるといふ

臧民政部大臣訪日

七日出帆うすりい丸で

【新京電話】滿洲國民政部大臣臧式毅氏は建國以來重大懸案であつた地方制度の改革も昨秋より實施され民政部の仕事も一段落を見たので此の機會に年來の宿願である隣邦日本を訪問し建國以來日本の朝野より寄せられた援助に對して謝意を表し兼れて同國の行政視察のため來る六日のあじあにて新京發七日大連出帆のうすりい丸にて一路訪日の途に就く事となつた、尙隨行員は淸水理務司長を始め王士木司長、都甲調査科長、曲秘書官以下十名で一行は來る二月一日歸國の豫定であるが淸水理務司長は東京における日程を終り次第一行に先立ち來る一月廿日頃歸任の豫定である

けふ新京へ

關東局勤務員

新京關東局勤務員一同は愈々五日より三々伍々旅順を出發、同日正午大連發はと又は第十五列車に便乘、一齊に晴れの首途を爲す事となつたが、いづれも更生の意氣燃ゆるが如く元氣旺盛振りを示してゐる

故安達博士葬儀

平和宮で盛大に執行

【ヘーグ三日發國通】國際司法裁判所判事故安達峰一郎博士の葬儀は三日午前平和宮で盛大に行はれた、葬儀に際しオランダ女王ウイルヘルミナ陛下には特に御名代を御差遣はされたが、我公使館よりは武富公使以下官民多數參列した

滿支間の郵便車

當分現在の儘

【奉天電話】長い間の懸案であつた滿支間の郵便業務に關する問題は今回圓滿なる解決をなし、來る一月十日より爲替小包の取扱ひを開始する事となつた、これがため滿支兩國間の諸郵便物遞送に關しては直通列車に連結の郵便車現在使用のものを當分利用する事となつてゐる然しながら奉天郵政管理局に於いては滿支間の郵便物は激增を見越しこれが增加に伴ひ別に郵便車を連結する方針である

山海關經由の郵便物數推定

【北平三日發國通】今回の通郵により滿支兩國民衆の蒙る恩惠は測り知られざるものがあるが某專門家の推定で尙今後山海關通過の彼我郵便物の槪算左の如き數量に達すべしと觀られてゐる

▼普通郵便物一日約十萬通、一ケ月約三百萬通、一ケ年三千萬乃至四千萬通

▼爲替一日約一千通一ケ月約三萬通一ケ年約四十萬通一通平均金額四十圓乃至五十圓一ケ年約二千萬圓

小包數は推定困難なるも大體爲替と同樣である

雲德兩王に武器提供

支那內蒙懷柔策

【北平三日發國通】內蒙懷柔策の一として曩に蔣介石氏が雲德兩王に武器提供を公約した、その一部として迫擊砲四門、彈八百、銃器四百挺、彈四萬、七九式步兵銃二百九挺、彈三千五百、自動拳銃二十六挺、彈三千が南京より中央軍事委員會諮議何永信外四名に護送され、二十六日北平西直門驛通過綏遠百靈廟に向け輸送された

地方官大更迭

身分保障令を楯に休職命令に抗爭

同令中地方官除外か

【東京特電四日發】後藤內相は既報の如く近く地方官の大更迭を決意して更迭に愼重に着手してゐるが其の際休職組と目されてゐる人々は早くも密かに會合して官吏身分保障令を楯にとり强制的休職命令に抗爭すべく策謀しつゝあり今後の形勢頗る注目されてゐる所謂官僚政治復興と共に七年九月以來實施された官吏身分保障令の實績は徒らに官界の弛緩を招來せるに止まり却て弊害の助長を痛感されてゐるが、さりとて直に之を廢棄することもならずしかも此の保障令を理由として抗爭されては政府の威信が失はれるので、結局同令の中より地方官を除外する外なしといふ意見に傾いてゐる模樣である

大觀小觀

國際聯盟が日本の南洋委任統治繼續を是認するといふ▲假りに否認して見ても何の力もないといふことを漸く自覺したのであらう▲問題は年報を聯盟に提出する義務ありや否やである▲若日本が之を提出しなかつたら何うするつもりか▲新春の星ケ浦に關東軍及び北支駐在の將星集まる▲內容の何たるかは知らず唯だ精銳を網羅せる其の顏觸れの堂々たるを見る▲官吏身分保障令を以て官僚政治のバリケードとした官僚內閣が▲此の保障令あるがために官界の刷新が出來ずに自繩自縛となつて惱んでゐる▲官吏だけを特權階級の如くに考へ國民の生活保障を忘れて官吏のみの身分保障を行つた[illegible]の應報。

人事

▲大場鑑次郎氏（關東州廳長官）四日午後三時四十五分着列車にて來連

▲和田大佐（海城〇〇隊長）四日午後四時二十五分着列車にて來連雲水ホテルへ投宿

▲江崎重吉氏（滿鐵鐵道部貨物課長）四日午後四時五十分發列車で金州へ

▲道關與門氏（遼陽輸組理事）同上歸任

▲花谷正氏（濟南駐在武官、步兵中佐）四日入港奉天丸で來連

▲影佐禎昭氏（上海駐在海軍武官海軍中佐）同上

▲村田愨麿氏（本社社長）五日午前九時發あじあで新京へ

內務部長就任挨拶

米內山內務部長は御用始め式後內務關係者一同を集め會議室に於て就任の挨拶を述べた

泉警視旅順へ

【新京電話】今回關東州廳衛生課長に榮轉の泉文藏警視は五日のあじあにて離京旅順に向ふ筈である

青木高等課長赴任

關東局高等課長青木重臣氏は四日正午關員多數の見送りを受け出發赴任した

國際の初荷

國際運輸會社恒例の初荷は四日午前十時より十五臺のトラックを連ね、築島專務、野木常務、小川重役、岩岡庶務課長、松本陸運課長外社員一同國際マーク入りの法被姿も凜々しく先づ大連神社に詣でて新春を壽ぎ、山縣通りから大山通浪速町伊勢町筋の各荷主方面に挨拶、それぞれ威勢よく初の荷物を屆けた

蘭領本年度晒布制限高

【バタヴイヤ三日發】蘭印政府の發表に依れば本年度晒綿布制限令は一ケ年輸出量一億二千八百八十五萬ヤードと決定其の內オランダ本國より輸出すべき數量は六千三百七十五萬ヤードで全體の四割五分五厘に當る

海運問題で蘭印代表神戶へ

【バタヴイヤ三日發】客臘廿四日蘭印政府はそのコムミユニケに於て日蘭會商の延期を發表すると同時に蘭印海運代表が一月中に神戶に於て日本當業者と海運問題に就き會議を爲すべき旨を公約したが右公約に基きローヤル・パケツトネビゲーシヨン會社の重役は一月九日バタヴイヤ發神戶に向ふ事となつた

社說

日本人此處に在り
非常時突破の標語

「日本人此處に在り」とは村上久米太郎氏の萬死咄嗟の間に放つた一語であるが、昨年中聞いた言葉、讀んだ文章の中で、最も愉快な、最も感激に富むものである。恐らく此一句は永久に吾等の腦裡に烙き附きて消失しないであらう。しかも此一句を常住に強調し、その意義を各方面に擴充して吾等日本人の座右の銘と爲すべきものである。

惟ふに現在は世界全體の非常時であるが、日本としては本年來年を非常時として國民全體の覺悟を此處に集中して來た。その非常時年の初頭に當りて、吾人は殊に此一句を銘肝すべきである。吾等の非常時突破とは如何に困難を打開せんかの問題であるは勿論だが、それのみではなく、同時に東洋の平和を定め、世界全人の幸福に貢献せんとする皇謨の躍進を期するにある。此の皇謨を翼贊するのが國民の覺悟であつて、それには日本人此處に在りの一句を須臾も忘れてはならぬ。

◇

吾等日本人は國民としても個人としても日本人此處に在りの一句を常住の標語として糸毫も此心得に背かぬ心掛が必要だ。內政問題に處するに此心掛けがなくてはならぬはいふまでもなく、差詰め對滿政策の爲めに最も此心掛けを持たねばならぬ。南全權大使は新任前より赴任後にも屢々語る處は、最も大切なるは人の和にあり、殊に滿洲國人に對して優越感を以て臨むなかれと說いてゐる。吾等に日本人たるの自覺があれば全權の意に副ふことが出來る。全權の意に副ふことは我國策を翼成する所以である。各人に此自覺あれば、商人も暴利を貪ることなく、工業家は粗惡品を製することなく、警官、憲兵も暴戾な行動なく、軍隊も王師として活動すべく、日系官吏もあらゆる不正は勿論行ふことなく、滿洲國人の爲めに全心を傾けて働らくことになる。此の爲めに日滿不可分の關係が益々密切になる。我對滿策はこれより外になく、在滿邦人がすべて此心掛を持つならば我對滿策は成功疑ひない。

◇

日本人此處にありの意氣を持ちて、萬事此意氣によりて行動するならば、我對支外交の盤根錯節も刃を迎へて解ける。支那人の最も恐れるのは、日本がその武威を藉りて西洋流の侵略主義を遂行せんとするかにある。日本人の精神は天祖並に今上陛下の聖旨を體して天下全人の和平幸福にあり、武力を練り經濟力を養ふは、他民族の征服、異人種の搾取を目的とするものでなく、全人類の共力によりて全世界の共榮を將來せんとするに外ならぬ。これを知るならば支那人は必ず我國に賴りてその國土の寧康を謀らんとするに相違ない。野心家ありて排日熱を煽動しても、蔗衆は決してこれに靡きはしない。而してこれを知らせる爲めには、日本人各個が日本人此處に在りの意氣を持ちて、苟しくも日本人らしくないことを思はず、日本人らしき行動より外れないことが必要である。支那人にして、日本人の此の精神を知る程ならば、他の東洋民族は求めずしてすべて旭日旗讃仰の宗徒となるは必然だ。

◇

吾等は歐米人に對しても、日本人此處に在りの標語を高く揭げて、日本人の眞精神眞價値を彼等に知らしめることが最も必要だ。彼等の多くは日本人は模倣に秀でた國民だと思つてゐる。日本が今日強國になつたのは彼等の模倣に依ると思つてゐる。併し模倣では眞物を凌駕することは出來ない筈で、日本人には日本人の特質があるから今日の地位に達したのだ。それを彼等は尙ほ覺るものが少い。これを彼等に覺らせないならば、世界全人を救ふなどゝは痴人の囈語としか彼等に響かない。吾等は日本人此處に在りの標語を高く揭げて、日本人たるに背かない意思と行動とを彼等に認識させることが何よりも必要だ。

以上の如く觀じ來れば、非常時に善處し、克く之れを突破し、國我天祖以來の皇謨を翼成し、國策を遂行する爲めには、英國に學ぶべきにあらず、米國に學ぶべきにあらず、佛國に學ぶべきにあらず、支那の帝王に學ぶべきでもない。只日本人獨特の素質を益々砥礪して、日本人たるに恥ぢざる意思と行動とにより て、日本人此處に在ることを天下萬人に知悉せしむるにあるを知るべきである。

"經濟第一主義"へ
大轉換を見せた我對滿國策 新春早々實現化

【東京三日發國通】在滿機構改革問題も新官制の制定更に現地においては南全權、長岡關東局總長、內地においては林兼任對滿事務局總裁、川越同次長の堂々たる陣容を整へ一段落を告げたが之に伴ひ我對滿國策は從來の治安第一主義より經濟第一主義に轉換するものとして頗る注目すべきものがある 而して經濟第一主義は日滿兩國間に新條約の締結により日滿經濟會議（又は日滿經濟共同委員會）なる國際機關を設置し以て日滿經濟統制問題を解決せんとするものであるが之が準備工作は既に十月上旬前ギリシヤ公使川島信太郎氏が廣田外相の命を受けて渡滿日滿經濟統制の具體的事項を調査研究してゐるので南全權は新春早々之が實現化に着手することゝなるべく同時に滿鐵總裁の更迭其の他の人事異動を行ひ對滿國策遂行に邁進することゝなつてゐるので政府は南全權の今後の努力に多大の期待をかけてゐる

爲政者に望む 大連港擴充
大連商議會頭 高田友吉

日本帝國の現狀を見ると、近代優秀な產業組織と科學の進步に則つて世界的に雄飛し、今ま渾球到るところ日本商品を見ざる無しの狀勢を爲し、各國何れも凡百手段を弄してこれが防遏に苦心慘澹の情景を點出して居る。而も、日本は國土狹少なるため、動もすれば資源に乏しい憾みが多く、資源豐富且つ開發の前途に餘裕のある滿洲國と提携することは相互の利益であるばかりか、東亞の平和を確保するために結ばれた日滿兩國の不可分關係を更に一層鞏固ならしむる基調をなすものと信じられる。

又 單に資源上の相互依存ばかりではなく、產業上の握手は自然技術の上にも、經營の上にも、將資本の上にも日本側の進出によつて滿洲國經濟の發展を助力するものが多い。卽ち公司法の金資本に關する制度が定められたことなどはその片鱗であると見ることが出來る。これ等制度の整備も勿論であるが、根本精神に就て多數のものが希望し已まないものは、卽ち滿洲產業開發上の明朗性である。恐らく滿洲に於ける今後の仕事は堅實な企業への資本の吸集が第一の問題ではなからうかと思はれるのである。それには日滿經濟統制の大綱が明確に公表明示され、その政策遂行の機關が確然整備され何人にも何等の躊躇と迷ひも無く、安んじて企業に從事し產業の開發に邁進し得られる明朗な態勢が確されればならない。最近內地資本が朝鮮の企業界に顯に躍動して居ることは、朝鮮總督府の方策が齎した好結果と思はれ、滿洲に於ける爲政者もこの經濟人の動向を察して善處するには、學ぶべき點が多々あるであらう。

次 に大連の當面の問題を觀るならば、日滿間の貿易は最近に著るしい增加を示現し、大連港の呑吐量は優に一千萬噸を超ゆるの盛況に至つて居る。いま新年に際し、過去を顧み將來を思ふとき、日滿兩國の爲政者に希つて已まないものは、この呑吐港に於ける大勢に卽する設備の充實と、出入貨物の原料に關する取扱の方途である。躍進に躍進を重ぬる滿洲國の物資需給に聊かの澁滯も與ふる事なく、圓滑に調節を計らんとする上に於ては先づこの都市と港灣の修築に充分の考慮を拂はなければならない。滿洲國の將來はその產業の發達と共に自給自足の域から一歩踏み出て大に海外に發展しなければならない運命を荷うて居り、日滿經濟ブロックの妙諦も要するに相互の原料と工業とを結びつける物資の運用そのものに外ならないことを思へば、諸般の制度施設を進むると同時に、この呑吐門の施設充實に適當の計畫を進めなければならないことが一層に痛感ぜられるわけである。

即 ち貨物呑吐量の既往に於ける實蹟に鑑み、更に現在に於ける周圍の事情を考慮して、その將來性を觀察するときは、差當りの問題に目標を置くとしても、なほ少くとも現在の四五倍に當る設備の增築計畫が先づ取り行はなければならないと確信せられる。卽ち大連商工會議所は將來の呑吐貨物を豫想する諸資料を蒐集して、その然らざるべからざる所以を明示するために幾多の努力を加へて居り更に各方面の助援を仰いでその誤らざる測定によつて、將來の計畫と實行とに協力を致さんことを期してゐる。敢て新年を迎へてその緊急を賀すると共に聊か業界の趨向に所懷を披瀝する所以である。

國際運輸の初荷隊（四日本社前にて）

反消態度を決定
大連商議代表聯合會へ

滿洲國政府官吏が新に消費組合を設置するに至つたので全滿商議聯合會では六、七の兩日新京に總會を開きこれが對策を協議し且つ反消運動の烽火をあげることになつたが、これに先だち大連商工會議所では四日午後三時半より同所樓上に役員會を開會、大連側としての態度を協議した、その結果大連商議は

一、消費組合反對に關する大連商議の立場は不變である

二、滿洲に邦人移民を獎勵せねばならぬ今日消費組合を盛んならしむるのは國策に逆行するものである

三、滿洲國官吏はよろしく大乘的見地より反省すべきである

四、商工會議所は輸入組合と聯合して理想的小賣物價を設定し滿洲の消費者の利益を增進する

との四條項を具して新京の聯合會に臨むことに決定、四時半散會した、なほ新京の聯合會には瓜谷副會頭、小澤常議員、長永書記長の三氏が大連商議を代表して出席すべく三氏とも五日出發の筈

消費組合の設立反對
奉天商議決定

【奉天電話】奉天商工會議所においては四日午後三時二十分より緊急議員會を開催し六日新京に於て開かれる全滿商議聯合會の議題である滿洲國官吏の消費組合設置問題に關し奉天商工會議所の態度につき協議し滿鐵消費組合でさへ問題とされてゐる今日、尨大なる組織を以て結成さるゝ滿洲國官吏の消費組合は在滿邦商を益々窮地に陷いれるもので斷乎反對する事を決定しその對策に付いては同會議に出席する石田會頭、兒玉理事に一任する事とし午後五時半散會した

"滿洲現地の犯罪はない"
噓つき名人小川の犯罪

【神戶特電四日發】滿洲をダシにした噓つきの名人詐欺犯東京市赤坂區青山南町五丁目小川鋼（三）は兵庫縣警察部刑事課坂本警部、吉崎警部補の手で嚴しい取調をうけてゐるが畏多くも滿洲國皇帝を稱め奉り鄭總理、小磯前關東軍參謀長、滿洲航空會社からさては兒玉伯の名までを引出して數回に亙る詐欺を働いたのは單に滿洲熱を利用して犯行を容易ならしめたのと遠隔の地で暴露し難いことを見越したに過ぎない模樣で從つて目下のところ滿洲現地の犯罪は恐らくあるまいとみられてゐる、又同人が明治四十二三年頃二年間大連の小學校に通つたと自稱してゐることは恐らく事實らしいがこれにつき吉崎警部補は記者に語る

滿洲を荒した事實は恐らくあるまいとみてゐる目下主として犯罪事實の調査に全力を注いで今春匆々から身元を洗ふ豫定になつてゐる

政界"其頃"を語る（上）
尾崎咢堂

代議士に當選すること十八回、明治二十三年國會開設以來最古參の議員、その侃諤の論と常に議會改革を叫ぶ雄辯を以て鳴る尾崎咢堂翁を葉山逗子の別邸に訪ひ政界の昔話を聽く

――東京は今朝大分雪が降りました、こちらはどうでした降りましたか

何、逗子は暖かいので、あまり積らない、臨時議會中は二、三度東京へ出て見たが、老人になると、こちらの方がよろしい

――政黨解消はどうです

今では政黨はないから政黨であるが今のは私黨である、自分の黨の利益ばかりを考へてゐるのは政黨とはいへぬ、政府黨にしてもさうだ、試金石は選擧をやつて見るがよい、今までの多數黨も一旦野黨に下ると、必ず少數黨に下るから、國會は政府の我まゝを匡正することだ、だから政府黨が多くなつては何もならぬ、野黨が多くなければならぬ、政黨聯携にしてもさうだ、理想はよいが、却々黨派の感情に囚はれてれ、政友會はその日暮し、政府は軍部に引ずられ、思ふこと一つかなはず、まあこゝのところは軍部と政府の力較べがれ

×

――昔の政黨はそれでも鼻息が荒かつたのでせう、あなたの活躍時代はどうです

藩閥政府に對する反抗心が強かつたばかりでなく、政黨同士の間の爭ひが却々ひどかつた、思ひ出せば、遠い昔のことになるが、明治十五年だつたかに大隈重信の改進黨が出來た、東海道を改進黨の遊說をして歩くことになり、その時名古屋へも行つた、當時鐵道は横濱までしか出來てゐない、昔は東海道下りといへば品川に泊つたものだ、學生なども品川まで送つて來て、そこで送別會をやつたもので、ところが私は神奈川に泊つた、同行は先輩矢野文雄と、矢野君の書生であつたが、その書生と三人で仲良く遊說をして歩いて行つた、神奈川の次は小田原泊り、その次は箱根を越えて三島へ泊つた、今では丹那トンネルが出來て一二時間半ばかりで行ける、乘物は人力車だつた、私たちは所謂お立ち早泊りをやつた、行つた先々で客が來すり夜おそくなつたりするものでだかられ、掛川にも一泊し、名古屋では秋琴樓といふのに泊つた

――その頃の政界は板垣の自由黨と大隈の改進黨が屢々攻擊し合つてゐた、定期に兩國あたりで演說會をやつたものです、沼間、島田は改進黨にはいり、盛んにやつてゐたもので、自由、改進兩黨は互に仲の惡いものゝやうに見られてゐた、その頃我々改進黨の方では綱領をつくつておいた、その綱領がふるつてゐる「我黨は知識、名望あり財產あるものを集める」知識名望ありはよいが、財產あるものはどうかうかれ、まあ我々は眞面目にそれを主張し、盛んに攻擊したものだ、私は若いけれども黨の幹部であつた

日頃から自由黨に對してはよく思つてゐなかつたし、何時かは戰端が開かれるものと思つてゐた、妙なもので自由黨は同じ土佐であつても三菱攻擊を始めてゐる、大隈は三菱とは臺灣征伐以來、關係が深いと國民も信じてゐた、それは大隈が征蕃事務長官として長崎にゐた時、そこで大隈は經濟的、政治的策動をしきりにやつたものだが、大隈は陸軍の方の運送をすつかり岩崎にやらせ、岩崎はこの時から基礎が固まつたのだといはれてゐた、自由黨が、この關係を大にしていふのは無理はないだらう、新聞でも盛んに三菱攻擊があつたものだが、三菱の邸の付近はおつきの女中が三人ついてゐるとか、縮緬の蒲團から下りたとはないなどゝさへいはれてゐた、私は當時報知新聞にゐたが報知新聞は三菱攻擊に參加しない、この狀勢にあつて報知の持主矢野と私が遊說に出かけたので、人々は大名遊說だといひはやしたものだ、もつとも、その頃の自由黨といへば貧乏壯士の集まりばかりで改進黨の方が人柄もよかつた

さて、名古屋へ着くとその頃名古屋には田原の內藤魯一といふ恐ろしく強い人がゐてこの人が自由黨に關係してゐたものと見える、內藤魯一は岐阜で板垣伯が刺客に襲はれたとき、刺客を三間先へさつて投げつけた豪の者である、改進黨の矢野と私が來たといふので、何とかしてトッチメてやりたいと思つたとみえて矢野と私が秋琴樓にゐると間もなく面會を求めて來た

（寫眞は聽音器を耳にあてゝゐる咢堂翁と愛孃品江さん）

ラ佛國外相 ローマを訪問
バルカンの空氣を緩和する 新協定成立さる？

【ローマ二日發國通】フランス外相ラバール氏はいよいよ三日パリ發の夜行でローマに乘りこみムッソリーニ首相と會談オーストリヤの獨立保證並びに接壤關係國の相互不可侵を骨子とする協定の實現に努力することゝなつたが新協定は左の二方式を採り第一方式はラバール外相のローマ滯在中に調印を見るものと期待される

一、伊佛聲明案 フランス及び伊太利はオーストリヤの領土保全並びに獨立に關する原則を再聲明する

二、接壤國協定案 伊太利、ユーゴースラビヤ、チエッコスロバキヤ及びハンガリー、オーストリヤ並びに相互の內政に干涉せず且如何なる侵略的行動にも出ぬことを協定する

右內政不干涉協定實現の曉はバルカンの險惡な空氣を緩和し更に伊太利、ユーゴー間の關係改善に資するものとして大いに期待されてゐる

ラヂオ
五日 大連（JQAK 六五〇KC）

午前の部

六・三〇（京都）「明治天皇御製謹話」京都帝大名譽教授文學博士高瀨武次郎

七・〇〇 各地氣溫通報・ラヂオ體操

八・三〇（大阪）子供の時間 お話「四條畷神社に詣でゝ」平林治德、合唱四條畷コドモ會

一一・〇〇 喜多流謠曲「猩々」謠白井靖敏、笛西川虎太郎、小鼓白井光子、大鼓板橋素好、太鼓藤井美代子

一一・四〇 ニユース

一一・五〇 新年こども大會▲第一部（東京日比谷公會堂より中繼）司會關屋五十二（一）御挨拶 日本放送協會業務局長中山龍次（二）子供のオーケストラ（イ）年の始（ロ）證城寺の狸囃子（ハ）ギヤロップ（ニ）ワルツ＝川南兒童オーケストラ、指揮小林信一郎、角野道子、石川誠一、橘英之禎（三）童話「和氣淸麿を護つた猪」久留島武彥（四）ヴアイオリン獨奏（イ）メヌエット舞曲（ロ）トロイメライ（ハ）金婚式＝藤田倫、ピアノ伴奏宮原淳子（五）獨唱（イ）日の丸の旗（ロ）お餅つき（ハ）キユーピーさん（ニ）蛙の夜まはり＝松本俊枝、伴奏アルメリア五重奏團（六）童話劇「雪崩」勝本信司脚色、木馬童話劇研究會、伴奏指揮福田宗吉▲第二部（大阪市中之島中央公會堂より中繼）（一）狂言「福の神」福の神（茂山良介）參詣人（茂山七五三）同（茂山政次）（二）童謠レヴュー「バンザイ日本」（全八景）北村壽夫脚色、BKコドモサークル、伴奏大阪ラヂオオーケストラ、合唱早苗會兒童、舞踊島田兒童舞踊研究所兒童

午後の部

二・五〇（東京）經濟市況

五・〇〇（東京）子供の時間 獨唱望月誠、伴奏若草管絃樂團

六・〇〇 コドモノシンブン、ニユース、告知事項

六・三〇（大阪）ピアノ二重奏（一）組曲作品十五番アレンスキー作曲（イ）ロマンス（ロ）ワルツ（ハ）ポロネーズ（二）ロンド作品七十三番ショパン作曲＝荒木和子、土川正浩

七・〇〇（東京）哥澤（一）松壽千年（二）春は賑ふ（四）月夜がらす＝唄哥澤芝金、三味線哥澤芝梅、同哥澤芝香

七・二〇（東京）箏曲（一）千里梅曲萩岡松韻、同萩岡松柯、三絃高野松峰（二）新年松＝箏萩岡松柯、同籏澤秋音、三絃萩岡松韻

七・五〇（大阪）少女歌劇「メキシコの薔薇」寶塚少女歌劇星組生徒、伴奏寶塚オーケストラ、指揮高木和夫

八・三〇（東京）時報

八・三一 義太夫「明烏夢泡雪」山名屋の段＝淨瑠璃竹本團子、三味線竹本旭勝

九・〇〇 ニユース、告知事項、氣象通報、明日の番組おしらせ

新春五句
中塚一碧樓

ぬれてゐる磯の巖のいろ明けの春

輪飾に袖をふるゝこともなく朝ゆふべ

陽出て乘初めの舟人に水に

元旦くろい器にすこし離れ坐つたこども

甕の水も白い鶴來るも松の內

建國の春を壽ぐ 國都の觀兵式
南新任軍司令官統監の下に 在京部隊總出動

【新京電話】建國の春を壽ぐ國都新京に於いて康徳二年新任軍司令官南大將統監の下に八日午前十時より國都のメーンストリート中央通りに於いて我が在京部隊總出動の下に華々しき觀兵式を擧行する事となつた、參加部隊は佐野警備隊長諸兵指揮官となり警備隊、在京部隊〇〇〇〇名で當日南軍司令官は西尾參謀長、板垣參謀副長以下幕僚多數を從へ新京驛前廣場より軍司令部前に至る道路に堵列する各部隊の閲兵式を行ひ次いで新京神社前に於いて分列行進を査閲し我が精鋭が新しく戴いた軍司令官の前にその威容を誇らげに示すを始め當日の盛觀が豫想される特に〇〇部隊は近代性能を發揮し極寒の蒼空に於いて壯烈なる空中分列式を行ひ將に國都の大空に陸軍の春を描き出し新京驛前廣場より軍司令部前に至る中央通りはさながら一幅の現代武者繪の觀を呈するものと觀られて居る

曉天の雪を衝く 雄々し銃士の姿
密林に皇軍勇士の辛苦偲ぶ 大猛獸狩り第一日

【新站にて島田特派員四日發】新春劈頭の第一壯擧本社主催滿鐵々道部並に鐵路總局後援の日滿聯合大猛獸狩の第一日は遂に來た、四日午前五時半折から三日以來降りしきる粉雪をついて新站驛頭に集まる獵勇士は長谷部團長以下八十七名、五十六歳の三原氏より十七歳の若武者福田君にいたるまで何れも皮の獵服に彈帶獵銃を擔つた凛々しい武者ぶりである、一同元氣旺盛北滿張廣嶺の天を壓した

一行は左腕には「滿日主催日滿聯合大猛獸狩り」と白地に赤く染出した腕章をつけてゐたが午前六時三十分邊見幹事長より集合命令が下るや粉雪降りしきるプラットホームに大連、新京、奉天の三班に分れて集合、長谷部團長の前に嚴かなる結團の宣誓式を行つた、北滿の天未だ明けやらず白雪に掩はれた山河を亘る北風は身を切るばかり天も地も空氣までも凍てつくした零下三十餘度の中に聲高らかに結團の宣誓を述べる福田大連、大友奉天、丸山新京三獵友會長の姿、これを受ける長谷部團長の姿は雄々しいといふか莊嚴といふか文字通り

躍進する日滿人の姿をこゝに見出さずにはゐられなかつた彼等は郊外に雉、兎を追ふ遊獵とは異り、行くは北滿の大天地、千古不伐の密林地帶、戰ふは密林の王者達である、しかも密林に蹐み入り酷寒と戰ひ自ら北滿駐屯の皇軍勇士の辛苦を偲ばんとするのである、その意氣や壯とすべきであらう、今團員一同が嘗て北滿の鬼將軍にして現在團長と仰ぐ

長谷部少將の前に宣誓を行ふ嚴かさは、遊獵本位の獵天狗には到底想像もなし得ない光景である

六時五十分宣誓を終るや長谷部團長より訓示あり終つて直ちに特別編成の猛獸狩り列車に分乘して白皚々たる天地に萬歳の聲を殘して目的地馬鞍山に向つて出發した【寫眞は長谷部團長】

日、英、佛、獨間の 無線電話愈よ開通
來る二十五日第一聲

【東京三日發國通】僅か一ケ月前にアメリカとの無線電話が開通したばかりなのに今度は英、獨、佛の歐洲諸國とも市內電話と變りなくモシ〳〵が開通することになりいよ〳〵その開通式が今月の二十五日に各國首相級の肉聲交換で華々しく擧げられることになつた此の中英國はラグビー局、ドイツはベルリン遞信局との直通、その他は此の兩局の中繼によるのだが兎に角これでロシアを除く歐洲諸國と自由に話が出來ることになつた

料金は目下交渉中であるが大體アメリカ東部との通話より安い見當である、開通式に第一聲を交はすのは我國からは岡田首相を先頭に廣田外相、床次遞相、英國はマック首相、キングスレー遞政局長官、ドイツはナチスのゲッベルス宣傳相が登場することに決まり尚當日他の國々の首相と我が岡田首相、廣田外相がリレー式交話をすることに略々打合せが出來た

尚岡田首相とマック首相との聲の親善は一九三五年新春の歷史的行進曲として期待されてゐる

旅順の出初式

旅順の消防出初式は例年の如く六日午前八時から擧行十時三十分から昭和園前廣場に於て模擬火災の消火演習を行ふ豫定である

旅順開城記念會
水師營の會見所で 當時を偲ぶ大野宴

【旅報】旅順攻城會、滿洲戰蹟保存會及び旅順商工青年會共同主催にて擧行される旅順開城及びステッセル兩將軍會見三十周年記念會は五日午前十一時卅分から水師營會見所に於て開催往年第一回閉塞の勇士松崎隆義氏の挨拶に次で田中要塞司令官、佐伯保存會主事藤氏の講演あり當時そのまゝの大野宴を開催する事となつた

豪華・バス九臺竣成

滿洲モーターズが豫てハルビン市營バスより注文をうけてゐた乘合九臺を竣成、七日輸送することとなつたので、四日午後安田販賣部長、中村サービス部長ら指揮のもとに大連市中を練りお目見得した、同バスは定員三十五人の豪華車である【寫眞は新バス】

滿洲國軍の正月
「奬勵軍人邁進與年俱新」 兵舍に感激の標語

五色の軍旗の下に、匪賊討伐に訓練に寧日も無い滿洲國軍二十萬にも樂しいものはお正月であらう。「好漢不當兵、好鐵不打釘」といはれ人間の屑かの如く扱はれ、匪賊よりも始末の惡いものと相場のきまつて居た舊政權時代の兵隊のお正月は匪賊によつたものだが、新帝國成つて皇帝の忠良なる軍隊として威容一新更生した國軍は新警秘のお正月を大々的にやつて舊慣打破の範を示さうと大した意氣込みである。

☆

懷かしい帝政第一回のお正月を國軍はどんな風に迎へるであらうか十二月二十八日が御用納めで匪賊討伐の第一線に立つて居る部隊を除いて全部一切の教練勤務を打ち切り、兵隊さん達にたんまりボーナスが渡る。ボーナスを貰つた兵隊さん達はあゝしてこうしてとお正月のプランだ、もうお正月が來た樣な無邪氣なはしやぎが兵營に溢れる。

二十八日から正月の三日までは朝の點呼から就寢前の點呼の午後八時四十分までは自由外出が許される、帝政の春ぢやもの、のんびりと心行くまで樂しませうとの軍政部當局の心遣りである。二十九日には兵隊さん總出で班長さんの號令で兵舍の隅から隅まで大掃除、去年の塵をきれいさつぱり拂ひ清めすがすがしい氣持ちで新年を迎へようといふのだ、大掃除が濟めば中隊長殿の清潔檢査だ、これが嚴重でうまくパスすれば占めたものだが、駄目となると「大掃除元へ」で再掃除。

☆

三十日は早朝から兵營の飾りつけだ、先づ營門には五色に映える新しい大滿洲國旗を交叉して色とりどりの緋の飾布を結びつけるやら松枝のアーチをこしらへるやら、先づ殺風景な營門も器用な兵隊さんの手による最大級のデコレーションで見違へるやうな派手やかさになる。講堂には國旗、萬國旗等を張り廻らし紅提灯をつるし正面に皇帝の御肖像を掲げ崇敬の意を表すのもゆかしい、兵舍講堂食堂等には「奬勵軍人邁進與年俱新」等と記した新年の感興と感激を喚び起す標語を五色の紙に書いたのを所狹いまでに貼つてもうお正月を待つばかりである。大晦日には飾り立てられた大食堂に將兵打ち揃つて和やかな大晩餐會が行はれる。兵士を人間扱ひにしなかつた舊政權時代には將兵打ち揃つての會食等夢にも考へられなかつた事だが、王道の光遍き滿洲帝國は一視同仁、將校も兵士も何の隔てもなく自然もなく打ち寛ろいでお正月を待つことの出來る國軍の兵隊さん達は確かに幸福である

☆

大晦日の獻立は豚肉と粉條兒（豆ソーメン）と白菜の煮込みに白乾兒（高粱酒）それに蒸し立ての包子（皮の薄い肉饅頭）と餃子（皮の厚い肉饅頭）である。煮込みの豚肉も今日は特別に奮發されてごつさり入れてある、滿洲では官民貧富の別無く何處の家庭でも大晦日の晩には必ず蒸し立ての餃子を食べるのが滿支を通じての習慣である、丁度日本の晦日蕎麥に相當する譯である、平素高粱飯にもやしといふやうな粗食に甘んじて居る兵隊さん達は惜みなく食卓に山と盛られた蒸し立ての美味しい包子と餃子をそらと食へとばかりにたらふく食べて、白乾兒の杯を高く擧げて皇帝の聖壽萬歲と國軍の武運長久を祈りつゝ明日に迫つた新たなる年の奮鬪を誓ひ合ふ。明くれば愈々お正月である。大晦日同樣の獻立の朝食が濟むと午前八時卅分全員集合の喇叭が鳴り響く、眞新しい儀式用の軍服に身を固め輕母しいでたちの全員營庭定めの位置に整列隊長の號令で一同脫帽皇帝の居ます方に向つて三鞠躬（最敬禮三回）の禮を行つて遙拜しそれから新年の意義と新年を迎へての國軍の覺悟に就いての隊長の訓示を聽いて新らしい感興を胸に樂しい自由外出だ。

二日は兵士講演會が開かれる上機嫌の兵隊さん達が交々壇上に起つて新年の感激を語り、新興帝國の感激を述べ皇帝に對する忠誠と國軍の決意を高調するものがあれば、去年の手柄話を一席やつてのけるのもあり三日は兵隊さん達の待ち焦れる演藝大會だ、やれ芝居だ掛合に萬歲だ聲色だ流行歌だ、高脚踊りだと腕によりをかけ咽を撫でゝこの日を待つてゐた藝自慢の連中が次から次に珍藝奇劇を演じて拍手喝采を浴びれば藝無し猿は遊戲だ運動だとこれまた負けずにはしやぎ、嚴しい軍律から解放されて今日は無禮講だ、無邪氣な兵隊さん達は朝から晩まで伸び〳〵と羽を伸ばして子供の樣に騒ぎに騒いで正月最後の日を心行くまで享樂する。

充分に英氣を養つた國軍は明日から又銃を執つて勇躍治安維持の第一線に立つのだ。

滿洲醫大施療班
極寒の走破を了る 四日午後大連に着く

滿洲醫大學生の三角地帶巡迴施療自動車走破隊一行は大型トラック二臺にて小出信義中佐指揮の下に去る三十日奉天を出發、遼陽海城を經て岫巖に入り、次いで大孤山、碧流河を經て城子疃より州內に入り、豫定の如く酷寒の三角地帶を施療しつゝ四日午後大連に到着一行はそのまゝ本社前に到りこの走破の成功を祝した、隊長小出中佐は本社にて語る

すべて豫定通り走破を終へました、途中危險を感じて警備準備をして通つたところもありましたが何事もありませんでした、寒さは大したことはありませんでした（寫眞は本社前における走破隊）

關東州廳の御用始め

關東州廳御用始めは四日午前十時五十分から會議室において擧行大場代長官よりは此の意義深き州政のスタートに對し力強き一場の訓示挨拶を述べる處があり一同正午退廳した

全滿洲 全朝鮮 對抗卓球試合

◇全滿洲對全朝鮮戰 六日午前十時より
◇全朝鮮對全滿人戰 七日午後五時より
社員俱樂部で（會員券共通二十錢）
主催 滿洲卓球協會
後援 滿洲日報社

小數賀政市氏
昭和建物專務取締役

前大連市助役、昭和建物專務取締役小數賀政市氏は舊臘以來大連醫院に療養中の處二日午前七時死去し四日午後二時より市內常安寺に於て葬儀擧行されたが小川市長、大內議長始め杉野前市長、古財、齋藤（態）、高塚、恩田の諸氏、滿鐵側より八田副總裁、山崎、竹中各理事及び山內電々總裁、古田鮮銀支店長、村井滿銀頭取、櫻內理事長、守中、村上大連正副醫院長、石川一中、岡內語學校各校長、實性大連新聞社長、細野主幹等在連諸名士多數參列し各名士の弔詞朗讀に移るや貝瀨協和建物株式會社代表、山內電々總裁、中西滿鐵地方部長、櫻內島根縣人會代表、寺島中央大學會員代表、村田社友會代表等夫々立ち最後に田邊銀行氏遺族側及葬儀委員代表として挨拶するところあり三時半了つたが近來の盛儀であつた

略歷 小數賀氏は島根縣松江市外法吉村豪農小數賀家の三男として生れ、少時より地方行政の實務に從ひつゝ法律を修め、初め內務省地方局に勤め「市町村課の小數賀」として一躍有名となり滿鐵創立當時地方行政のため部を設置されるや中堅となるべき人材として清野理事に見出され明治四十年四月着任、爾來二十年間地方部に勤務、上棟に至つて地位を後進に讓つた、大正十四年滿鐵を辭し松岡氏の推薦で當時市長たりし杉野耕三郎氏を輔佐し助役に就任、大連醫院獨立問題を始め市のために盡し杉野氏滿期辭任に際し共に引退、次で協和建物株式會社創立と共に中堅となり昭和九年七月推されて專務となり今日に及んでゐたが、同氏は夫人との間に長男浩、次男淳、長女恒子、次女淑子の二男二女をもうけたが何れも成人、社會人として活躍してゐる（寫眞は小數賀氏）

氷上競技豫選 暖氣のため延期

大連氷上競技聯盟では五、六兩日鏡ケ池リンクに於て來る十二、十三兩日奉天に於て擧行される滿洲氷上競技聯盟主催の全滿洲氷上競技選手權大會の大連豫選會を開催することになつて居たが暖氣のため完全なる結氷を見ざるため五、六兩日の豫選會は中止延期することになつた、尚代表選手の銓衡方法は追つて役員集合協議の上發表の筈

磐城町の小火

四日午後四時五十分市內磐城町百六番地海產物商村田商店事西園慶助方より發火同五時十分鎭火、原因は煙突の不完全からで損害輕微

松山乙喜氏

（大連土建相互保證組合書記）一月四日事務始めにて執務中心臟痲痺にて突如死亡した、氏は多年教育銀行、錢鈔信託等に奉職し銀行事務に精通した、因みに葬儀は一月五日午後二時大連寺に於て執行の筈

スポーツ

◇京城齒專チーム…▼五日午前九時入港の明石丸で着連の豫定

東北凶作義捐金

▲金三十圓也 天理教鞍山教會
▲金一圓也 鞍山南四條町山崎糸江
計 三十一圓也

鐵路を破壞中の 匪賊と交戰擊退
背陰河驛附近で我が憲兵隊 松浦上等兵戰死す

【ハルビン特電四日發】二日未明に於る拉濱線東路破壞事件來〇〇隊及憲兵隊協力して鐵東警戒中又復四日朝二時頃背陰河驛附近に約六十名の匪賊の一團が現れ軌道破壞作業に着手せんとしたので憲兵隊が出動、同驛北方高地に追ひつめ激戰の結果賊は多大の損害を受け多數の死傷を遺棄して遁走したがこの戰鬪で憲兵上等兵松浦久兵衞は左胸部に貫通銃創を受け壯烈な戰死を遂げ、菱沼伍長は重傷を負うた、二日未明五常拉林間を襲つたのと同一匪賊と思はれる

由比正雪 (135)

悟道軒圓玉演　武田一路畫

小事より大事發覺

賣り言葉に買ひ言葉と世俗に申す如く、一徹短慮なる丸橋忠彌の申し條に、溫厚な奥村八郎右衞門も大いに怒り、

「默んなさい、正雪先生は何と言はれた。それはお身も存じて居るであらう。吾々は異體同心、假に大將は設け置くとも決して上下の差別は無いと申したぞ。御身を大將と致すは一軍を統轄させる方便おれは御身の指揮を受けて働くやうな者ではないぞ」

「不埒な事を申すナ、大將の命令に背かば軍法に照らして斬に處す」

「偉い事を言ふナ、御身の指揮に應じて行動いたす奥村と思ひ居るか」

「此奴無禮なり」

と碁笥を取つてパッと投付けた。

八郎右衞門は身を交したが、その碁笥は左の小鬢に觸れた爲めにタラ〳〵と破血した。續いて忠彌は碁盤を取つて立上る。八郎右衞門は膝元にあつた脇差に手を掛けた。

それへ駈け附けたは、柴田三郎兵衞、

と忠彌の腕をピタリと押へて盤を奪ひ、

「まア待て」

「コレ丸、何をする」

「奥村が無禮をいたし居つた」

「まア待て、拙者も聞いて居つたが、一旦の爭ひより口論いたして貴公は碁笥を投げつけたではないか。貴公の所爲が宜しくない、奥村殿も立つてあらうが、識つての通り丸橋は物に激し易い性質だ。手前から詫びろ、勘辨いたしてくれ」と言はれて奥村八郎右衞門は苦笑して、

「イヤ、貴公に心痛させては氣の毒。些細の事より口論いたしたは大いに恥入る」

「丸橋の無禮を忘れてくれるか。それは忝けない、コル丸橋、今も申す通り貴公が宜しくないぞ。大事を前に控へて斯る小事より感情を激しては互の不利益のみではない、延いては大事にも及ぼす、奥村に詫びるが宜い」

言はれて忠彌はそれへ手をつき、

「奥村、何卒勘辨してくれ、柴田の申す通り拙者が惡い、依つて詫をいたす」

流石に教養のある人物とて自分の惡い事は能く判る。

斯う忠彌に折れて出られると、奥村も得心して、そこで和解をいたした。

三郎兵衞は奥村の小鬢の傷に手當を加へ、

「さア〳〵、これへ參つて和睦の酒宴を開くであらう」

と、軈て酒になつたが、八郎右衞門はその夜の子の刻に別れを告げて牛込の正雪の邸を出て、本鄕の弓町に歸る事とて神樂坂を下り船河原橋まで來た。俗に此所をドン〳〵と謂ふ。

東は水戶家の屋敷、七月二十二日のこととて、秋とはいへど未だ暑氣も去らず、橋の欄干に凭れて川風に涼を納れてゐたが、何分傷が痛む。

「酒を飲んで居つた時はさして痛みも感ぜぬが、醉ひの醒めるに從つて痛んでまゐつた。これにつけても丸橋は怪しからぬ奴だ。些細な事に立腹いたす彼の如き短慮な人物を大將に頂き大事を擧げれば、とて成就はいたすまい。正雪先生は才智鋭き人物なれど、何として丸橋を江戶の大將にいたしたか。これぞ大事成就いたさぬ前兆であらう」

と吐息を洩らしつゝ、

「此度の一擧破れなば吾は反逆人の罪名の下に嚴科に處せられ、且又兩親及び一門一家も重き刑に着くであらう。只今の内に此の黨を脫するが良策であらうか。併し此の期に及んで脫黨いたすは武士として恥づ可き所業であるが、ハテ何としたものか」

と考へた。折しも差し昇る月は淸き光を流れに投げ、チーと河岸の叢にすだく蟲の鳴く音はさながら悲に咽ぶが如く。

「ウムさうだ。此の上は忠彌の許に參り、彼を討果して後自殺いたさん。さすれば黨中を脫せし卑怯者とは言はれまい。丸橋は槍を把つては達人ではあるが刀を取つて勝負いたさばよも敗れを取る事はあるまい……」